



福岡県ワンヘルス絵本

副読本



地球という一本の大きな木。人間も動物も、その大切な枝です。
幼児期は、「バイオフィリア」(P05 参照) や、「みんな地球の仲間」
という感覚を育むかけがえのない時期です。
この副読本は、ワンヘルスの考え方を、日々の保育に活かすためのものです。

- 外遊びでの気付き (虫や草花とのふれあい)
- 昼食での気づき (命をいただく感謝)
- 動植物とのふれあい (思いやりの心を育む)

先生方の保育を通して、こどもたちの心に「地球の仲間」という感覚の種をまいています。

この副読本が、未来へ向かう豊かな根を育む一助となれば幸いです。

・ この絵本のコンセプト ・

・・・メインコンセプト・・・

「つながりを感じる心」を育む

絵本の読み聞かせや、そのあとの外遊びを通じて、こどもたちが「自分」と「周りの世界（お友だち、動物、植物、自然環境）」とが深くつながっていることを、頭ではなく豊かな感性で捉えられるようにすること。それが、この絵本の願いです。

3つのサブコンセプト

01 「ワンヘルス」を日常へ

ワンヘルス教育のために、特別なカリキュラムを用意する必要はありません。日頃の昼食、外遊び、動植物とのふれあいなど、普段の園生活すべてが立派なワンヘルス教育です。先生方には、毎日の保育にどうか自信を持っていただきたいと願っています。



02 現場主体の自由な活用

この絵本や副読本に、決まった「正しい使い方」はありません。園の個性や、その日のこどもたちの興味に合わせて、先生方同士で話し合い、自由で独自の活用法を見つけてみてください。



03 小学校への架け橋として

幼児期に育んだ「みんなつながっているんだ」という豊かな感性は、小学校以降の学びや社会生活において、とても強くてしなやかな土台となります。



こどもたちが自然の中で見せる小さな驚きや発見を、先生方が一緒に面白がり、共感してくださること——それが何よりのワンヘルス教育です。この絵本が、園でのあたたかな対話のきっかけとなることを心から願っています。

ワンヘルス絵本の使い方

1 さあ生き物探しに出発しよう! 🔍



キャラクターの紹介

ぶなちゃん

森が大好きな「ぶなちゃん」は、大きなポケットにドングリや小枝を詰め込んだ、こどもたちの探検仲間。名前の由来は、日本の原生林を象徴する落葉広葉樹の「ブナの木」。目に見えない自然のつながりを発見し、環境変動で減りつつある大切な森へ、こどもたちを優しく誘うナビゲーターです。



だんごくん

ダンゴムシをモチーフとしています。虫が好きな子も苦手な子も、つい目が離せなくなるのが「だんごくん」。触れると丸まり、しばらくすると動き出すユニークな姿は園庭の人気者。噛んだり急な動きをしたりしない安心感から、身近な「いきものさがし」を先導する案内役として生まれました。さあ、だんごくんと一緒に、足元の小さな命の不思議をのぞいてみましょう。



💡 このページで伝えたいこと

この絵本には、ひとつの「正解」はありません。ぶなちゃんやだんごくんと一緒に、身のまわりのいきものを見つめ、「どうつながっているのかな?」と考えるきっかけをつくるのが目的です。

2 「ふかふか」の土の中には何がいるかな? 🌻



土の中には働き者（分解者）がいて、健康な食物が育つというつながりに気づく。

「土に触るとどんな感じ?ぶなちゃんが見つけたみたいに『ふかふか』かな?」

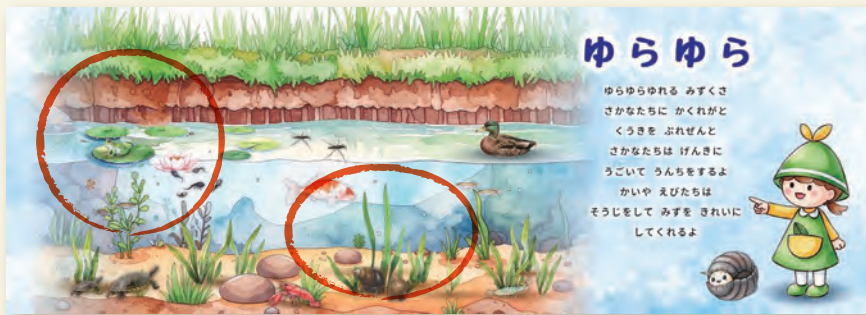
「みみずくんは、土を食べながら耕しているんだって」「ふかふかの土でお野菜が育ったら、どんな味がすると思う?」

💡 このページで伝えたいこと

土の中には、小さい生きものたちが暮らしています。その営みが、土を豊かにし、野菜や花の成長につながっています。「ふかふか」という感覚から、見えない働きに目を向けるきっかけをつくります。



3 「ゆらゆら」水の中は何がいるかな？ 🌿



水の中の小さな生態系、ここでは水草の存在にも目を向け、お互いに支え合って生きていることに気づく。

「水の中では、水草が『ゆらゆら』しているね。」
 「水草には、お魚さんたちが卵を産んだり、お空(酸素)をプレゼントしているよ」
 「水は誰がお掃除しているのかな」



💡 このページで伝えたいこと

水の中にも、たくさんのいきものが暮らしています。水草や魚、エビや貝などが、それぞれの役割を持ちながら、おたがいに支えています。「ゆらゆら」というやわらかな動きから、水の中のつながりを感じられるようにします。

4 「きらきら」太陽のしたには何がいるかな？ ☀️



太陽の光から始まり、鳥や風が種を運ぶダイナミックな命のつながりに気づく。

「お日さまは、『元気パワー』を届けてくれるね。」

「鳥さんが種を食べて、遠くへ飛んで落とした『うんち』の中から、また新しい芽が出てくるんだって。」



💡 このページで伝えたいこと

太陽の光から、いのちの営みは始まります。植物が育ち、実をつけ、鳥や風がその種を運びます。空や大地をめぐる、広がりのあるつながりに気づくページです。

5 みんなで「にこにこ」したいよね？



ワンヘルスの心

「自分も自然の一部である」という実感と、自分たちの大切さを感じる。

「元気に笑うって、とっても大切なこと。」

「動物も、草も、みんな繋がって

『ひとつの元気』なんだって」



「もう一度表紙と裏表紙を見てみよう」

「つながっているよ」



このページで伝えたいこと

私たちが、自然のつながりの中の一部です。動物や植物と同じように、「ひとつの元気」を分かち合っています。いのちを大切に思う気持ちを、あたたかく結ぶページです。



ワンヘルスとは？



ワンヘルス（One Health）とは、「人間、動物、環境の健康は、すべてつながっている」という世界共通の考え方です。

私たちは普段、人間だけの世界で生きているように感じてしまいがちです。しかし、私たちが吸う空気を作ってくれるのは植物であり、土や水をきれいにしてくれるのはダンゴムシやミミズといった小さな生きものたちです。もし自然が汚れ、動物たちが病気になってしまったら、私たち人間も健やかに生きることはできません。

つまり、人間だけが健康になることはできないのです。私たちはみな、地球という大きなおうちで一緒に生きています。

この「見えないけれど大切なつながり」に気づき、みんなでひとつの健康を守っていくこと。それがワンヘルスであり、これからの未来を生きていくための「ちきゅうのあいことば」です。



オノマトペってなんだろう？



この絵本では、幼児期のこどもたちがワンヘルスを身近なこととして感じられる入り口として、土や水、太陽や空気とのつながりを描いています。こどもたちがお話の内容を直感的に受け止められるように、読み聞かせの言語表現として、オノマトペを用いました。

オノマトペは、こどもたちが真似しやすく、親しみやすい音の表現です。「ふかふか」「ゆらゆら」「きらきら」「にこにこ」のように、自然の息遣いや、身のまわりの様子を音として共有することはとても大切です。

先生方もこどもたちも、表情豊かに、リズムよく、ことばの響きを楽しみながら、地球との「つながり」を肌で感じる豊かな時間を過ごしてください。



バイオフィリアってなんだろう？



「バイオフィリア」という言葉には、「生命（バイオ）を愛する（フィリア）」という意味があります。私たち人間は、長い長い歴史の中で自然と共に生きてきたため、本能的に自然や生きものを求めるようにできています。

人工的なものやデジタルに囲まれがちな現代だからこそ、幼児期に自然とふれあうことには、科学的にも大きな意味があることがわかっています。自然の中にいると心が落ち着き、ストレスが和らいで穏やかな心が育ちます。土や植物に触れることで、病気に負けない丈夫な免疫力が育ちます。そして、小さな命を大切に思う思いやりの心が芽生え、それが地球を守る第一歩になります。

園庭の土を触ったり、落ち葉を踏んだり、虫を探したりする「いつもの遊び」が、実はこどもたちの心と体を守る大きな力を持っています。ぜひこどもたちと一緒に自然の不思議を楽しみながら、先生方ご自身も、心の中にある「生きものを愛する本能」を感じてみてください。



制作チームからのメッセージ

福岡県では、こどもたちの発達段階に応じたワンヘルス教育を推進しています。教育にワンヘルスの視点を取り入れることで、つながりを理解し、問題を多面的に捉える力を養うことができます。

この度、就学前の幼児教育でも、親しみやすい「絵本」を制作しました。

この絵本の読み聞かせを通じて、「私たちの健康は、動物や環境と身近につながっていること。このつながりを知り、動物や環境を大切にすることが、未来を守る最初の一步になること」を先生方やこどもたち、保護者の皆さんと一緒に考えていただけると幸いです。

ワンヘルス絵本制作チーム (順不同・敬称略)

- 福岡県国公立幼稚園・こども園協会 会長 木部 里美
- 一般社団法人 福岡県私立幼稚園振興協会 常任理事 伊藤 亜希子
- 公益社団法人 福岡県保育協会 筑豊地区保育士会顧問 村島 京子
- 福岡教育大学 准教授 石上 洋明
- 中村学園大学 准教授 新井 しのぶ
- 福岡こども短期大学 講師 後藤 紀子
- 一般社団法人 ワン・ヘルス・クリエイツ 理事長 芝田 良倫
- NPO 法人 泉京・垂井 副代表理事 神田 浩史
- 公益社団法人 福岡県医師会 常任理事 稲光 毅
- 公益社団法人 福岡県獣医師会 副会長 今村 和彦
- 公益社団法人 福岡県獣医師会 副会長 處 愛美
- NPO 法人 ことばとりレーションシップの会 副代表 今村 亜子
- NPO 法人 ことばとりレーションシップの会 理事 渡辺 裕子
- NPO 法人 ことばとりレーションシップの会 高浪 暁子
- 株式会社アウルズ 大畑 祥子
- シロクマ企画室 鈴木 ジロー
- 株式会社フリーランス 後藤 暢子
- 福岡県 人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 私学振興課
- 福岡県 福祉労働部 子育て支援課
- 福岡県教育庁 教育振興部 義務教育課



最後に・・・

この絵本は、ワンヘルスという考え方を「教える」ためのものではありません。
こどもたちが、身のまわりのいきものや自然に目を向け、
「どうつながっているのかな」と感じる、
その小さなきっかけになることを願って制作しました。

いのちは、それぞれが懸命に生きています。
だれかの役に立とうとしているわけではありません。
けれども、その営みはいつのまにか
ほかのいのちを支え、つながっています。

土に触れること、水をのぞき込むこと、空を見上げること。
そうした日々の体験の中に、
いのちを大切に思うところは静かに育っていきます。

この絵本が、
こどもたちと自然をやわらかく結ぶ、
あたたかな時間となれば幸いです。

「ワンヘルス」についてもっと知りたい！

福岡県ワンヘルス推進ポータルサイト
<https://onehealth.pref.fukuoka.lg.jp/documents/>

